

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年7月1日朝刊

展示されるナウマンゾウの下顎の標本。本種の模式標本（ホロタイプ）に指定されている。30日午後、静岡市駿河区のふじのくに地球環境史ミュージアム



きょうから静岡で標本展示

ナウマンゾウ

浜松で発掘
100年ぶりに

“里帰り”

1921年に浜名郡伊佐見村佐浜（現浜松市西区佐浜町）で発掘され、後の研究でナウマンゾウの学名命名の際に用いられた標本の展示が7月1日、静岡市駿河区のふじのくに地球環境史ミュージアムで始まる。同館で開催中の企画展「県勢標本―『静岡発』自然史コレクションから見えるもの」の一環。保管されていた京都大から100年ぶりに県内に「里帰り」した。展示されるのはナウマンゾウの下顎と上顎の化石。下顎は顎の形がはっきりと残っていて、本種の模式標本（ホロタイプ）に指定されている。同館担当者は「門外不出だった貴重な標本。静岡の太古の豊かさを感じてもらえれば」と話した。展示は8月29日まで。月曜休館。

- ①写真はナウマンゾウのどの部分の化石標本ですか。（ **下顎(したあご)** ）
- ②展示されるナウマンゾウの化石はどこで発掘されたものですか。
（ **浜名郡伊佐見村佐浜(現浜松市西区佐浜町)** ）
- ③見出しにある“里帰り”とは何のことを言っていますか。
（ **(例) 保管されていた京都大から発掘された県内(浜松)に戻ってきたから。** ）
- ④この化石標本が貴重である理由を記事から読み取って30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。
(例) 後の研究でナウマンゾウの学名命名の際に用いられた標本だから。(30字)
下顎は本種の模式標本(ホロタイプ)に指定されているから。(28字)
静岡の太古の豊かさを感じる門外不出の貴重な標本であるから。(29字)
など

年 組 名前